

1. 各項目の特徴点、考察

<環境問題>

あなたの住んでいる地域の環境についてお伺いします。

Q 1. あなたの住んでいる市町村には、暮らしと大きくかかわる交通安全、環境保全、あるいは住まいの事や、ごみ・リサイクルなどについての相談窓口があるのをご存知ですか。

○全体の70%が知らない

○年齢層で見ると高齢者は60%~80%知っているが若年層では10%~25%で意外と知られていない。

○相談した事がある人は全体の2%で市民には利用度が少ない。

★相談する必要が無いのか？もう少し入り込んだ質問が必要だったが、行政としてPR不足と思える。

Q 2. あなたの住んでいる地域は住やすいですか。

○住やすい、どちらかといえば住やすいが全体の78%。

○年齢層で見ても若年者、中高年齢層とも似たような傾向。

★住みにくい、どちらかと言えば住みにくいは全体の1割でおおむね満足していると言える。津島市のみが7割を切っており、Q 3でも分かるように津島市民でさえ、7割以上が他の市町村の方が住やすいと考えている。

Q 3. あなたが次の市町村で一番住みやすいと考える所はどこですか。

○半数以上の方が自分の市町村が一番住やすいと考えているのは、稲沢市・あま市・大治町。また、反対に半数に達していないのが、津島市・愛西市・弥富市・蟹江町。

○どこも住みにくいが全体の1割でQ2と同じ傾向でおおむね満足していると言える。

Q 4. より住やすい地域にするためあなたは何を望みますか。

○公共交通機関の整備 21%、医療機関の充実 19.5%と多くほとんどの市町村が望んでいる。

○20代~40代に公共交通機関の整備が多い

★通勤に不便さを感じているのでは。

○医療機関の充実についても20代~50代の人に多い。

★子供など家族に対する思いが強く医療機関に不安があるのでは。

○全体では低いですが60代では25%、70代では20%と高齢者福祉の充実が多い。

★高齢者にとっては、先々の不安を感じている。

★弥富市など海岸沿い地域では自然災害への対策を望んでいる。

また、意外なのは弥富市・蟹江町・大治町では防犯対策の構築を望んでいる。

<省エネ問題>

省エネ対策についてお伺いします。

Q 1. あなたは日頃から省エネに心がけていますか。

○心がけているが55%。

○40%の人が心がけることは必要と考えるが、行動出来ない。若年層になるほど多い。

○関心がなく何もやっていない人は3%と低い。

★必要と思いつつも行動が出来ない人への対策が必要。

Q 2. 自宅ではどんなことに心がけていますか。

○エアコンの設定温度を控えめにするが17.4%。日頃使わない電気製品はコンセントを抜いているが14.7%。

○年齢別に見ても全ての質問に対する回答の傾向が同じ。

★一般的な事は行われているようだが、Q1の回答でも解るように60%の人は行動に移せないのが現状で大いに対策が必要。

Q 3. 省エネに対してあなたは行政に望むのは何かありますか。

○省エネ製品への補助金。行政からの指導が求められている。

★その時期だけの場当たりの推進ではなく、継続性のある省エネ対策が必要。

<電力問題>

昨年、電力不足を回避するため、土日稼働を一部産業で行われました。今年の夏も電力不足が予想されていますが、これについてお伺いします。

Q 1. 電力が不足するなら、土日稼働はやむを得ないと考えますか？

○土日稼働もやむを得ない46%と代替エネルギーにより電力不足を解消し、土日稼働は避けるべきが41%と拮抗している。

○70代を除き年齢的には同じ傾向。

★半数近くの人が土日稼働を避けるべき。の回答が有り国や行政への対策を期待している。

Q 2. 土日稼働する上での最大の課題は何ですか？

○家族との時間が共有出来ないが48%と最も多い。

○20代と70代を除けば同じ50%前後とほぼ同じ傾向。

★家族との共有する時間が少なくなる事は、その家族にとって大変重要（問題）である事が解る。

2. 地協の政策要望への反映課題

- (1) 交通機関の整備
- (2) 医療機関の充実
- (3) 高齢者福祉の充実
- (4) 省エネ対策方法の指導と必要性のPR

3. 連合愛知の要望書、行政への要請取り組みとしたい項目

(地協独自では達成が困難な項目など)

- (1) 電力不足への対応
 - 代替えエネルギーの早期実現
 - 個人が出来る事のPR（教宣）

4. その他(統一項目や他地協のアンケートと比較して気づいた点など)